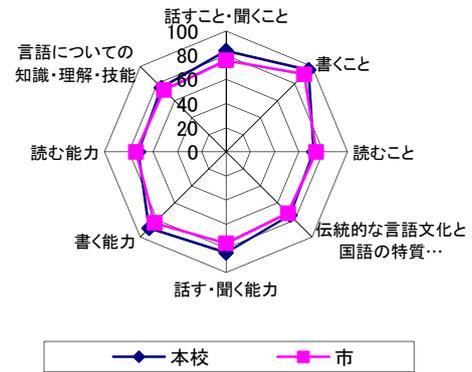


宇都宮市立陽南小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	83.7	75.9	72.1
	書くこと	96.1	91.0	79.2
	読むこと	72.2	74.1	71.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.3	72.0	73.0
観点別	話す・聞く能力	83.7	75.9	72.1
	書く能力	89.6	83.3	72.2
	読む能力	72.2	74.1	71.1
	言語についての知識・理解・技能	75.2	72.5	72.8



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は83.7%であり、宇都宮市の平均正答率より7.8ポイント上回っている。「司会者の役割を理解して、計画的に話し合う」は宇都宮市の平均正答率より19.8ポイント上回った。「話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞く」は宇都宮市の平均正答率を1.6ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の伝えたいことが理解できるように、1分間スピーチ や授業中の発表などで、観点に沿って聞く習慣が付けられるよう、指導を継続していく。 話し手の伝えたいと思っているキーワードは何かを、意識しながら聞く習慣を身に付けさせる。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は89.6%であり、宇都宮市の平均正答率より6.3ポイント上回っている。どの項目でも市の平均を3ポイント以上上回り、特に「2段落構成で文章を書くことができる」は宇都宮市の平均正答率より12.1ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見の中心を明確にさせ、必要事項を落とさずに書ける指導をしていく。 自由作文の時間を使って、普段から接続語などを用いて、段落を構成した文章の書き方に慣れさせておく。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は72.2%であり、宇都宮市の平均正答率より1.9ポイント下回った。物語文の内容読み取りでは、「登場人物の様子を読み取る」ことが苦手なようで、市の平均正答率より11.2ポイント下回った。説明文の内容読み取りでは「文章の内容を的確に読み取ることができる」は市の平均正答率より3.7ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から読書指導などを通して、文学的な文章に触れ親しむことで、興味関心を高めていきたい。また、登場人物の心情や様子を読み取ることに慣れさせるために、朝の読書で物語文を漠然と読むのではなく、感じたことや考えたことなどを記入させたい。 文章全体の内容を理解するために、接続語の働きや指示語の内容、キーワードとなる言葉などから、筆者の意図を読み取れるような授業を展開していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は75.2%であり、宇都宮市の平均正答率より2.7ポイント上回った。正答率が市の平均正答率を下回った漢字は、第5学年の配当漢字であった。「熟語の構成」や「俳句の理解」は市の平均正答率を上回ったが、「敬語（謙譲語）の使い方の理解」は、市の平均正答率を2.4ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の漢字が、教科書や漢字スキルに出てくるので、重点的に練習させるようにする。 作文や日記、ノート指導など、日常での文章表現で学習した漢字をできるだけ使用して表現するよう指導していきたい。 日常生活の中で、積極的に敬語を使って話すよう指導し、確実に身に付けるようにさせたい。